

NPO 法人 北海道勤労者安全衛生センター HP: <http://www.hokkaido-osh.org/index.html>**再掲載 「全国産業安全衛生大会・札幌」 9 月 16 日(水)～18 日(金)**

札幌での開催についてお伝えしてきました。当センターとしては、札幌開催ということもあり、積極的に参加していただけるよう検討をお願いします。今年度は、昨年度の会費を納入いただいている産別・地協に参加費の一部を補助(全体で 20 人)することとしました。大会の概要は以下のようになります。

■主催 中央労働災害防止協会

■後援 連合、連合北海道ほか北海道、札幌市など

■概要 **9 月 16 日(水) 13 時 15 分～17 時**

総合集会【開会式・講演会】北海きたえーる

※特別講演 (株)セコマ取締役会長 丸谷智保さん

「人口減少、高齢化と向き合う経営」

9 月 17 日(木) 9 時 30 分～17 時 分科会

【8 分科会】札幌コンベンションセンターなど

9 月 18 日(金) 9 時 30 分～16 時 分科会

【8 分科会】上記ほか「つどーむ」「カナモトホール」

開催詳細は、URLまたはQRコードからご覧ください。

札幌大会URL→ <https://jisha-taikai2026.com/> QRコード→■同時開催 **9/16～18 緑十字展** 【安全・健康にかかわる器具・情報等の展示会】

会場 つどーむ 【参加無料 申し込み不要です】

「新しい安全保護具を導入したい」「熱中症対策や DX 機器の最新情報を知りたい」

そんなとき、カタログやインターネットだけでは分からないことも多いのではないのでしょうか。

安全衛生に関する最新の製品・技術・サービスを一度に見ることができる貴重な機会です。

緑十字展の特設サイトは URL から! <https://a16.hm-f.jp/cc.php?t=M1122265&c=7318&d=e0ac>**NEW 「全道セーフティネットワーク集会」で「うつ病・うつ状態」の人への対応を学習 ⑦**

第 29 回全道セーフティネットワーク集会での講演を連続してお伝えしています。先週は「うつ病」の人に「死にたいと打ち明けられたら」どうしたらよいかについて、安易な励ましや批判、一般論の押し付けはしてはいけないこと、うつ病の人の死にたい願望の強さを理解することの重要性をお伝えしました。

今回は、「死にたいと打ち明けられたら」覚え置くべきこととして、①死にたいと口にする人はやはり危ないということ、②回復したと思える頃に注意する、と

いうことです。これは、うつ病の約 15%が自殺すると言われており、時期・タイミングとして「発病初期」→「治療法が軌道に乗っていない時期」が多いとされています。また、自殺のサインとしては「落ち込んでいた人がすっきりしている」「大切なものを誰かにあげる」「怒りや焦りがピークに達している」「さよならを言う」「遺書など具体的な準備をする」「行方がわからなくなる」といった特徴があるとされています。【つづく】

からだと気分の回復の時間差



再掲載【サンプル動画】『10月義務化！企業等に求められるカスハラ対策とは』 労働新聞社セミナー

講師：弁護士 中町誠法律事務所 中井 智子 さん 以下が無料公開部分(10分程度)の内容です。

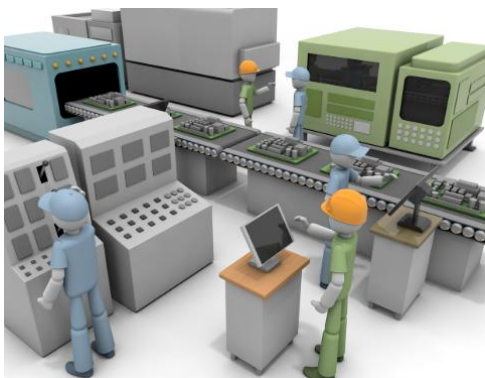
- 1 カスタマーハラスメントの現状
- 2 カスタマーハラスメントの法改正
- 3 カスタマーハラスメントの実務対応～マニュアル制定の留意点
- 4 カスタマーハラスメントに関する裁判例
- 5 カスタマーハラスメント対応に向けて

ぜひご覧ください(ログインしていただくと、全編視聴が可能です)。

https://www.rodco.jp/movie/219367/?utm_source=nl&utm_medium=email&utm_campaign=0679n



NEW「何度言っても直らない人」いませんか？ 職場づくりのコミュニケーションスキル ③



安全・安心の職場めざしたコミュニケーションのあり方についてお伝えしています。今回は、「理解したつもり」になっているのかもしれないが、「本当に理解している」とは行動内容が違っていることでした。今回は「伝える」と「伝わる」の違いについてです。行動に結びつかないのは、「伝える」だけで「伝わっていない」からということで、「片付けて！」と言われて、「捨てること」をイメージする者もいれば、「整理・整頓」をイメージする者もいます。つまり、指示者が意図したことと、指示された者の「受け止め方」と「行動」に齟齬が生じてしまっており、双方に「共通する言葉」で意思疎通していないこととなります。

「何か質問は？」と聞いても「ありません」で終わるパターンがよくあります。指示する側は、本当に正しく理解しているのかを相手の言葉で確かめることが必要となります。例えば、「今、説明したことで一番重要な点は何ですか？」などを説明してもらうことです。理解していること・していないことをはっきりとさせ、指示者の意図した行動につながるよう改善していくことが重要となります。労働安全衛生広報 7/15 より。【つづく】

再掲載「9月10日は世界自殺防止デー」ひとりで悩まないで 働く人の電話・SNS相談 9/11

「働く人の相談室」とは、世界自殺予防デーに合わせて実施する電話とSNSによる相談室です。仕事、人間関係、生活に関わる悩みを抱える働く方、その周りの方を対象に9/11(金)の10時から22時まで全国どこからでも無料で相談することができます。この相談室は、当センターが日常のメンタルヘルスに関わる電話相談を委託している日本産業カウンセラー協会北海道支部が主催し、連合が共催して実施するものです。「上司からパワハラを受けている」「顧客・利用者からカスハラを受けている」「老後のことが心配」などの悩みに「認定相談員」の方が親身に話を聞いてくれます。

会員組織のみなさんにはチラシ(右図)を発送しました。組織内での相談室開設の周知をよろしくお願いいたします。



日本の自殺者数は、1978年の統計開始以来、2025年に初めて年間2万人を下回り、19,097人(暫定値)となっています。かつての年間3万人を超えていた時代から比べると、社会全体の自殺対策や雇用環境の維持・改善が一定の成果を上げていると言われ、特に40代から60代の中老年男性の自殺者数は減少傾向に

あります。しかし「2万人を下回った」となっているものの、深刻化する「若年層と女性の孤独」の問題は依然として改善されていません。さらに、全体数が減る一方で、小中高生の自殺者数は532人と、過去最多を更新しています。大人社会が数字上の改善を見せる一方で、子どもたちの世界では孤独と絶望が深まっていると言われ、「社会の歪み」として捉えることができます。

NEW 改正労災法が成立！【請求権消滅時効を延長】 労働新聞 8/3 号より

労働災害保険給付請求権の消滅時効期間の延長や遺族補償年金の支給要件の見直しを柱とする改正労災保険法などが7月10日の参議院本会議で可決成立しました。施行日は一部を除いて2027(R9)年4月1日となっています。

改正法では、療養補償給付や休業補償給付などについて、保険給付の事由となる疾病がその性質上、労災保険法上の災害補償事由に該当するかどうかを容易に判断できない疾病である場合に、消滅時効の期間を現行の2年から5年に延長するものです。対象となる疾病は政令で定めるとし、脳・心疾患や精神障害、石綿関連疾病などが想定されています。対象疾病の範囲に関しては、衆参両院において「施行状況等を踏まえ、必要な拡大を検討すること」との付帯決議がつけられています。

遺族補償年金については、夫のみに課せられた「妻の死亡時に55歳以上」などの支給要件を撤廃し、遺族が1人の場合の年金額は一律で給付基礎日額175日分に改められます。そのほか、小規模・個人経営の農林水産業が該当する「暫定任意適用事業」を廃止することとなりました。

お知らせ 東京都産業局のハラスメント防止動画があります 企業・団体で活用の検討を！

こちらから https://www.nohara.metro.tokyo.lg.jp/?yj_r=6e&ly_c=186cbe67-4ef8-489f-9873e4ab82463660&ly_r=110&ly_src=da

お知らせ 北海道勤労者安全衛生センターの労災防止研修用DVD(無料)ライブラリー

北海道安全衛生センター所有DVD一覧(PDF)

100本を超えるDVDがあります。

申込は safety@rengo-hokkaido.gr.jp

会員組織でなくても無料でお貸します

企業・団体での研修会講師の依頼・相談も無料ですので当センターに気楽に相談を！

■ 中 | 災 | 防 | 技 | 術 | 支 | 援 | 部 | 情 | 報 |

令和8年度の研修・セミナーの開催日程もホームページに掲載しています。詳しくは、各研修等のページをどうぞご確認ください。 <https://www.jisha.or.jp/seminar/oshms/index.html>

<安全衛生団体>

■ 中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

■ 厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40277.html に掲載。

■ 北海道安全衛生サービスセンター <http://www.jisha.or.jp/hokkaido/>

■ 安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

■ 労働科学研究所 <http://www.isl.or.jp/>

■ 労働者健康安全機構 <https://www.johas.go.jp/>

- 労働安全衛生総合研究所 <https://www.jniosh.johas.go.jp/>
- 北海道産業保健総合支援センター（産保センター） <http://www.hokkaidos.johas.go.jp/>
- 職場のあんぜんサイト (mhlw.go.jp)
- 労働調査会 <https://www.chosakai.co.jp/>
- 日本産業カウンセラー協会北海道支部

一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 (counselor.or.jp)

【必見】「働く人の悩み相談室」開設中！しております。詳しくは[こちら](#)から お申込み・お問い合わせは下記までご連絡下さい。▼ご予約は電話：011-209-7000（平日 9 時～17 時 ※土日祝日はお休み）メール：sapporo@counselor.or.jp（当日をご希望の方はお電話での受付になります。）

○ 個人の方へ | カウンセリングのご相談 | 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部
(counselor.or.jp)

○ 日本産業カウンセラー協会 <http://www.counselor.or.jp/>

<行政>

- 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- 厚生労働省 北海道労働局 <https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/>
- 北海道 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- こころの耳（メンタル専用サイト） <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

「事例紹介」に検索機能を追加しました。

[こころの耳 Q&A | こころの耳：働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト \(mhlw.go.jp\)](#)

- パワハラポータルサイト「明るい職場応援団」 <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>
- アスベスト情報 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/index.html>
- 独法 労働政策研究・研修機構（JIL） <https://www.jil.go.jp/>
- いじめ・メンタルヘルス労働者支援センター（IMC） <http://ijimemental.web.fc2.com/index.html>

<おすすめHP>

- [ガン情報 がん対策情報センターについて](#)
- [がんと仕事のQ & A](#)
- 過労死防止学会 <http://www.jskr.net/>
- 全国過労死を考える家族の会 <http://karoshi-kazoku.net/>
- 日本アドラー心理学会 <http://adler.cside.ne.jp/index.html>

NEW ■ 安全スタッフ <https://www.rodco.co.jp/kytsheet/>

安全スタッフ電子版の人気コンテンツ『KYT シート』安全教育動画の紹介 危険予知訓練に活用を
〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル 5F
事務局長理事 木下真一 TEL 011-272-8855 safety@rengo-hokkaido.gr.jp

